

『健診結果を無駄にしないで！』

～タンパク尿でわかる「腎疾患」の始まり～

腎臓は老廃物を体から追い出す、血圧を調節、血液をつくる指令機能・・・などと私たちの体を正常な状態に保つための働きをもつ、とても大切な臓器です。そのため、腎臓の機能が低下し続けてしまうと、さまざまな病気を引き起こすリスクが発生してしまうのです。

慢性腎臓病（CKD）は初期には自覚症状がほとんどなく、気がつかないうちに病気が進行していることがあります。早期発見・早期治療のために聞いておいて欲しい、医師および管理栄養士による慢性腎臓病についての講演を行います。皆さまのご参加をお待ちしています。

- 日 時：平成28年7月22日（金）
開場 17:00
開演 17:30～18:30（終了予定）

- 講 師：腎臓内科 主任教授 菅野 義彦
准教授 長岡 由女
栄養管理科 管理栄養士 酒井 友紀

- 会 場：東京医科大学病院
本館6階 臨床講堂
（最寄駅：丸ノ内線 西新宿駅）

- 入 場 料：無 料

- 申し込み：事前の申し込みは不要。当日は会場に直接お越しください。

- お問合せ：東京医科大学病院 総務課 ☎ 03-3342-6111(代)

※尚、座席数に限りがございます（320席）。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。

共催：東京医科大学

東京医科大学病院 生涯教育センター

東京医科大学病院 総合相談・支援センター

公益財団法人 東京医科大学がん研究事業団

東京医専

協力：NPO法人 腎臓サポート協会

